

Topic of town

まちの話題



河南

踊って輪・和・話つなぐ わいWAI婦人まつり



河南地区婦人会は7月13日、遊楽館で「わいWAI婦人まつり2025」を開きました。地域の輪、婦人の和、家族の話の「わ・わ・わ、をつなぐのがテーマの恒例行事です。会員ら「かなん楽しくニギニギ隊」が玄米を詰めたダンベルやタオルで体操を披露したほか、子どもたちのチアダンスチーム「プレシャス」が参加者を巻き込みながら「マツケンサンバⅡ」の曲で踊り、盛り上げました。

桃生

笑顔きらきら「たなばた会」

親子で夏祭り気分満喫

桃生子育て支援センターキッズホームで7月15日、たなばた会が行われ、親子9組22人が織姫と彦星の物語を紹介する紙人形劇や歌、金魚すくいを模した遊びなどを楽しみました。桃生地区子育て支援グループ「どんぐりの会」の企画で、大人には懐かし駄菓子や人気キャラクターをモチーフにした手作りパンの販売もあり、小さな夏祭りの気分を味わいました。



石巻

地域の将来や課題解決へ対話

5年目「動く市長室」

齋藤市長が各地区に足を運んで住民と直接対話する本年度の「動く市長室」が7月28日、荻浜地区から始まりました。石巻の将来への対話と地域の課題についての懇談と2部制にしました。荻浜公民館を会場に初回は35人が参加し、住民バスの利便性向上や遠距離通学となっている児童の安心安全確保などで改善の要望を寄せました。



河北

道の駅「上品の郷」創業20周年

年間150万人が利用

河北地区の二子地区にある道の駅「上品の郷」が今年創業20周年を迎えました。道の駅「上品の郷」は、旅行情報誌が7月に発表した「全国道の駅グランプリ」で、全国の道の駅(約1,200カ所)の中から、第7位に選ばれており、地元の名産品や新鮮な野菜を販売し、県内の道の駅では唯一、温泉施設があり、地元の方から観光客まで幅広く愛される施設で年間約150万人が利用しています。



北上

神事で遊泳客の安全祈願

関係者集まり海開き式

北上白浜海水浴場の海開き式が7月18日に白浜海岸で行われました。住民有志の運営組合に加え、市職員や河北警察署、河北消防署など関係機関が参列し、砂浜に設けた祭壇で遊泳期間の安全を祈願しました。閉式後から8月24日までの海水浴期間は多くの海水浴客でにぎわい、かき氷などを提供する海の家や事前予約制の地引網体験が人気を集めました。隣接する白浜ビーチパークでは、11月までデイキャンプやバーベキューなどが楽しめます。



牡鹿

迫力ある伝統の踊り披露

金華山「龍神まつり」

12年に1度の「巳歳御縁年大祭」が斎行中の金華山黄金山神社で7月26日、龍神まつりがあり、神社創建時から伝わる龍(蛇)踊りが奉納されました。同神社でまつる弁財天が、龍に乗って降臨した言い伝えにちなんだ踊りです。地元有志を中心とした奉仕会が全長20m、重さ100kgの龍を操って勇壮な演舞を披露しました。煙幕や爆竹も使われ、多くの人々がその迫力に圧倒されました。



雄勝

混ざり、広がる色の面白さ

子どもらアート体験

広島県出身で市内在住のアーティストyūzū.さんが指導するアルコールインクアート作成体験会が7月20日、道の駅硯上の里おがつで開かれました。7月にあった絵画展の関連行事で、好きな色のインクと無水エタノールを水に強い紙に垂らし、偶然起こる色の広がりや混ざり合いで幻想的な作品を作り出すのがこのアートの特徴です。参加した子どもたちはその日の気分に合わせた好きな色を用い、世界に一つだけの作品作りに没頭していました。

